OLYMPUS®

ボイストレック
VN-8100PC
JP 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

失敗のない録音をするために試し録りをしてください。

保 証 書

本書は、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。お買い上げの日から1年以内に故障した場合は本書をご提示の上お買い上げの販売店または当社サービスステーションに修理をご依頼ください。

	無料修理保証期間	部　品　代	修　理　工　料
本　　体	1年	無　　料	
品　　名	ボイストレック	型　　名	VN-8100PC
シリアルNo.		お買い上げ日	年　月　日
販 売 店 名	無 効		

アクセサリー（別売）：
ステレオマイクロホン：ME51SW／**コンパクトズームマイクロホン（単一指向性）**：ME32／**モノラルマイクロホン（単一指向性）**：ME52W／**モノラルタイピンマイク（全指向性）**：ME15／**テレホンピックアップ**：TP7／**単4形ニッケル水素充電池・充電器セット**：BC400／**単4形ニッケル水素充電池**：BR401／**コネクティングコード**：KA333

<保証規定>
1. この保証書は、取扱説明書、品質表示ラベル等の注意書にしたがった正常なお取扱いにより発生した故障に対して、お買い上げ日から満一年間、当社が無料修理の責任を負うことを保証するものです。
2. 有効期間内に故障して無料修理を受けられる場合は、商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店又は別紙の当社サービスステーションに依頼してください。
3. 販売店、または当社サービスステーションにご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にご負担願います。製品を送る場合は、必ず書留小包または宅配便をご利用ください。また販売店と当社間の運賃諸掛につきましては、輸送方法によって（問屋便以外を使用した場合）一部ご負担いただく場合があります。
4. ご転居、ご贈答品等でお買い上げ販売店に依頼できない場合は、最寄りの当社サービスステーションにお問い合わせください。
5. この保証書は、本書に明示した期間、条件の元において無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書は、オリンパスイメージング株式会社、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
6. 本製品の故障に起因する付随的損害（録音、再生に要した諸費用及び録音、再生により得べかりし利益の損失等）については保証致しかねます。
7. 保証期間内でも次のような場合には有料修理になります。
   イ. ご使用上の誤り及び当社サービスステーション及び指定する修理取扱い所以外で行われた修理・改造・分解・掃除等による故障。
   ロ. お買い上げ後の輸送、落下等による故障及び損傷。
   ハ. 火災・異常電圧・地震・水害・落雷・公害・その他、天災・地変による破損又は故障。
   ニ. 本書のご提示がない場合。
   ホ. 本書にお買い上げ年月日、シリアルNo.、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
   ヘ. 電池等の消耗品による故障。
8. 保証の対象は本体のみです。

<保証書取扱い上の注意>
本書は日本国内においてのみ有効です（THIS WARRANTY CARD IS VALID ONLY IN JAPAN)。
販売店名およびお買い上げ年月日が記載されていることを確認してください。記入もれがあった場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

<保証責任者・保証履行者>
オリンパス イメージング株式会社
〒 163-0914
東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス

使用上のご注意：

- 録音、消去などの動作中に電池を抜くと、故障が発生し本機がご利用できなくなることがあります。
- 直射日光下の車の中や夏の海岸など、高温・多湿の場所に放置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。
- 水気がついたら、すぐに乾いた布で水分を拭き取りましょう。特に塩分は禁物です。
- 清掃する場合、アルコールやシンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。
- テレビ·冷蔵庫などの電気製品の上や近くに置かないでください。
- 砂や泥をかぶらないようにご注意ください。修理不可能なほどの故障が生じる恐れがあります。
- 強い振動やショックを与えないでください。
- 水気の多い場所で使用しないでください。
- 磁気カード（銀行のキャッシュカードなど）をスピーカーやイヤホンの近くに置くと、磁気カードに格納されたデータに異常が生じる恐れがあります。

〈データ消失に関する注意事項〉
- メモリへの記録内容は誤操作、機器の故障、修理などで破壊されたり消える恐れがあります。
- 大切な記録内容は、あらかじめメモに書き残されることをおすすめします。
- 本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じたデータの消失による損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

J1-BS0514-01
AP1006

はじめに

- 本書の内容については将来予告なしに変更する場合があります。商品名、型番など、最新の情報についてはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の著作権はオリンパス株式会社、およびオリンパスイメージング株式会社が所有しております。本書を無断で複製したり、複製物を無断で配布したりすることは著作権法により禁じられています。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害や、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関しても、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害自主規制について：

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

商標および登録商標について：

- ボイストレック（Voice-Trek）はオリンパス株式会社の登録商標です。
- IBM、PC/ATは、International Business Machines Corporationの商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows MediaはMicrosoft Corporationの登録商標です。
- Macintoshは米国アップル社の商標です。
- MP3 オーディオ符号化技術はFraunhofer IIS 社とThomson 社からのライセンスに基づき製品化されています。

その他の本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

◆主な特長

- ●多彩な録音形式に対応。MP3 形式（MPEG-1 Audio Layer3）をはじめ、WMA（Windows Media Audio）形式にも対応。
- ●音声に反応して自動的に録音の開始・停止を行う、音声起動録音（VCVA）機能や、ノイズをカットして録音するローカットフィルタ機能を搭載。
- ●音声フィルタ機能を搭載。
- ●フルドット表示のディスプレイ（液晶パネル）を採用。
- ●聞きたい場所をすばやく探す、インデックスマーク・テンプマーク機能搭載。
- ●再生スピードをお好みに合わせて調節可能。
- ●用途にあわせて、あらかじめ録音するときの音質や、録音に関するメニュー設定を登録することができる録音シーン設定機能を搭載。
- ●本機で録音したMP3形式のファイルは、ファイルを分割することができます。
- ●ディスプレイの文字を大きくし、見やすさを向上しています。お好みに合わせて文字を小さくすることもできます。
- ●本機はUSB2.0に対応しているので、パソコンにデータを高速で転送できます。
- ●USBストレージクラス対応なので、パソコンの外部メモリとして、パソコンからデータの保存や読み出しができます。
パソコンとUSB接続し、画像ファイルやテキストなどを保存できるので、データの持ち運びにもご使用いただけます。

準備

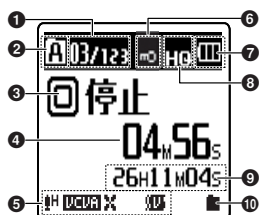
◆各部のなまえ

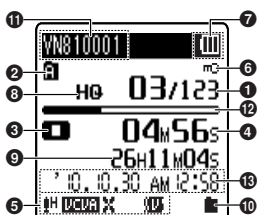
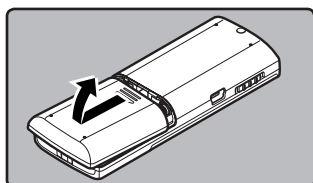
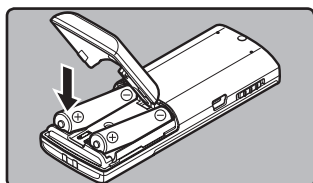
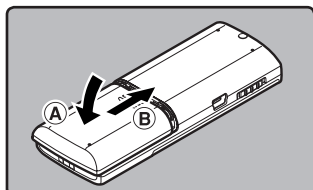
① **イヤホン**ジャック
② **マイク**ジャック
③ 内蔵マイク
④ 録音表示ランプ
⑤ 内蔵スピーカ
⑥ **+**ボタン
⑦ **録音●**ボタン
⑧ ▶▶Iボタン
⑨ **フォルダ／インデックス／シーン**ボタン
⑩ **–**ボタン
⑪ **消去**ボタン
⑫ ▶OK/**メニュー**ボタン（再生／確定／メニュー）
⑬ I◀◀ボタン
⑭ **停止■**ボタン
⑮ ディスプレイ（液晶パネル）
⑯ **電源／ホールド**スイッチ
⑰ USB端子
⑱ 電池カバー
⑲ ストラップ取り付け部

ディスプレイ（液晶パネル）：

ディスプレイに表示する文字の大きさを変えることができます（☞ P.13「**表示する文字サイズの設定 [Font Size]**」をご覧ください）。

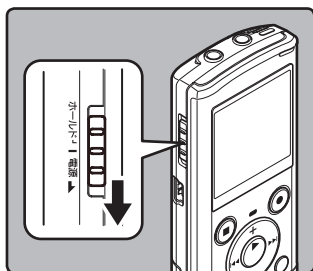
[文字サイズ] が [大] のとき

[文字サイズ] が [小] のとき

❶ **ファイル番号／フォルダ内の総ファイル数**
❷ **フォルダ表示**
❸ **本機の状態表示**
❹ **録音時：**
録音経過時間
再生時：
再生経過時間
❺ **[🎙H] マイク感度表示**
[VCVA] VCVA表示
[✕] ローカットフィルタ表示
[VL] 音声フィルタ表示
❻ **ファイルロック表示**
❼ **電池表示**
❽ **録音モード表示**
❾ **録音時：**
録音可能な残り時間
再生時、停止時：
ファイルの長さ
❿ **再生モード表示**
⓫ **ファイル名***
⓬ **録音時：**
メモリ残量バー表示*
再生時、停止時：
再生位置バー表示*
⓭ **録音日時***

* **[文字サイズ]** が [小] のときのみ表示されます。

◆電池を入れる

❶ 電池カバーを上から軽く押しながら、スライドさせて開ける
- 本機でマンガン電池はご使用になれません。
- 電池の交換は必ず本機を停止状態にしてから行ってください。本機が録音、消去などの動作中に電池を抜くと、ファイルが再生できなくなる恐れがあります。

❷ 単4形電池の⊕と⊖を正しい向きで入れる

❸ 電池カバーをⒶの方向に押さえながら閉じて、Ⓑの方向にスライドさせ、電池カバーを完全に閉める

電池表示について：

ディスプレイに [▭] が表示されたら、早めに新しい電池に交換してください。
電池がなくなると、[▭] と [**電池残量がありません**] と表示され、動作が停止します。
- 長期間本機をご使用にならない場合、電池を取り外してください。
- 本機では、別売のオリンパス製ニッケル水素充電池をご使用いただけます。オリンパス製充電器と併せてご利用ください。ただし電池残量表示が正しく表示されない場合があります。

◆電源を入れる／切る

電源を入れる：

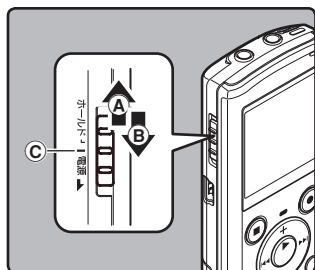
本機の電源が切れている状態で、電源／ホールドスイッチを矢印の方向へスライドさせる
- ディスプレイが点灯し電源が入ります。

電源を切る：

電源／ホールドスイッチを矢印の方向へ1秒以上スライドさせる
- ディスプレイが消灯し電源が切れます。
- レジューム機能により電源を切る前の停止位置を記憶して電源が切れます。

省電力機能について

電源を入れて停止状態のまま5分以上経過すると、ディスプレイ表示が消え、省電力モードになります。
- 省電力モードを解除するには、いずれかのボタンを押してください。

◆誤操作を防止するーホールド機能

ホールドにする（Ⓐ）：

電源／ホールドスイッチを［ホールド］の位置にスライドさせる

- ディスプレイに［ホールド］が表示され、ホールド状態になります。

ホールドを解除する（Ⓑ）：

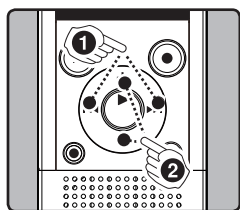
電源／ホールドスイッチをⒸの位置にスライドさせる

ご注意：

- ホールドの状態でいずれかのボタンを押すと、時計表示が2秒間点灯しますが操作は受け付けません。
- 再生（もしくは録音）中にホールドにすると、再生（録音）状態のまま操作ができなくなります（再生が終了したり、メモリ残量がなくなって録音が終了すると停止状態になります）。

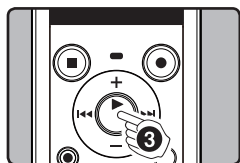
◆日付・時刻を合わせる［Time&Date］

日付と時刻を設定しておくと、「いつ録音した」という情報がファイルごとに自動で記録されます。録音したファイルの管理を容易にするために、あらかじめ日付・時刻合わせをしてください。

ご購入後初めてご使用になるときや電池を入れ替えた場合は、自動的に「時」表示が点滅します。

❶ ▶▶❙または❙◀◀ボタンを押して設定項目を選ぶ

- **「時」「分」「年」「月」「日」**の中から、設定したい項目に点滅を合わせてください。

❷ ＋またはーボタンを押して設定する

- 以下同じように▶▶❙または❙◀◀ボタンで次の設定項目を選び、＋またはーボタンを押して設定を行います。
- 時、分の設定中、**フォルダ／インデックス／シーン**ボタンを押すたびに、12時間表示と24時間表示が切り替わります。
- 年、月、日の設定中、**フォルダ／インデックス／シーン**ボタンを押すたびに**「年」「月」「日」**表示の順序が切り替わります。

❸ ▶OK/**メニュー**ボタンを押して設定を完了する

- 設定した日時で本機の時計が動き始めます。時報などに合わせて**▶OK/メニュー**ボタンを押してください。
- 停止中に**停止■**ボタンを押し続けると［**現在日時**］や［**メモリ残量**］を確認できます。

日付時刻を変えるには

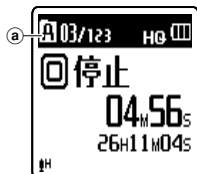
［**本体設定**］メニューから［**時計設定**］を選びます
（☞ P.9「**メニューについて**」、P.14「**日付・時刻を変えるには［Time&Date］**」をご覧ください）。

◆フォルダについて

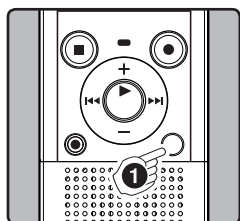
本機はⒶからⒺまで5つのフォルダがあります。フォルダを切り替えるときは、停止中に**フォルダ／インデックス／シーン**ボタンを押します。

ⓐ フォルダ表示

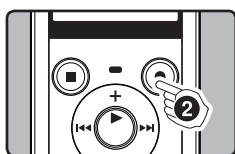
ご注意：

- 各フォルダに最大200件ずつのファイルを収納できます。

録音について

◆録音する

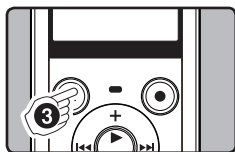
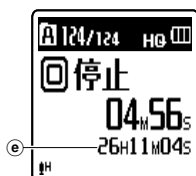
録音を開始する前にフォルダを［Ⓐ］～［Ⓔ］から選んでください。［Ⓐ］フォルダはプライベート用、［Ⓔ］フォルダはビジネス用といったように、録音する内容によって使い分けると便利です。

❶ **フォルダ／インデックス／シーン**ボタンを押して、録音するフォルダを選ぶ

ⓐ フォルダ表示

- 新しく録音した音声は、選んだフォルダの一番後ろのファイルとして保存されます。

❷ 録音●ボタンを押して、録音を開始する

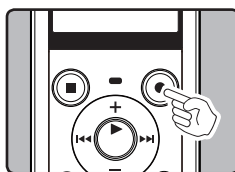
- 録音したい方向に内蔵マイクを向けます。

ⓑ 録音モード／
ⓒ 録音経過時間／
ⓓ 録音可能な残り時間

- 録音中は、[**録音モード**] の変更ができません。停止中に設定ください。

❸ 停止■ボタンを押して、録音を停止する

ⓔ ファイルの長さ

ご注意：

- 本機の内蔵マイクでステレオ録音（[**192kbps**] または [**128kbps**] モード）すると、内蔵マイクでのモノラル録音となり、左チャンネル（Lch）と右チャンネル（Rch）の両方に同じ音声を録音します。

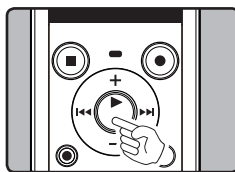
◆一時停止するには

録音中に**録音**●ボタンを押す。

- 録音一時停止のまま60分以上過ぎると停止状態になります。

録音を再開するには：

録音●ボタンをもう一度押す。

- 一時停止したところから録音を再開します。

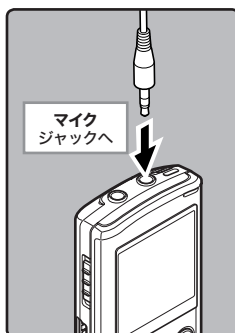
◆録音内容をすばやく確認するには

録音中に▶OK**/メニュー**ボタンを押す。

- 録音を中断し、今録音したファイルが再生されます。

◆マイク感度をかえる

使用目的に合わせて内蔵マイクの感度を切り替えできます。

[**録音設定**] メニューから [**マイク感度**] を選びます
（☞ P.9「**メニューについて**」、P.11「**マイク感度の設定 [Mic Sense]**」をご覧ください）。

◆外部マイクや他の機器から録音する

外部マイクや他の機器を接続し、音声を録音できます。ご使用の機器により、次のように接続してください。本機のジャックへの抜き差しは、録音中に行わないでください。

本機の**マイク**ジャックに外部マイクを接続する

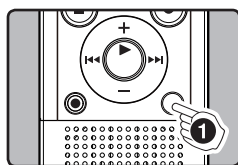
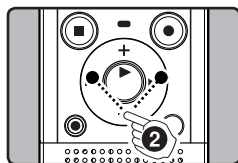
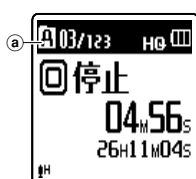
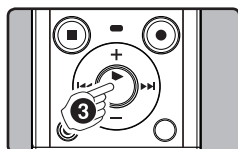
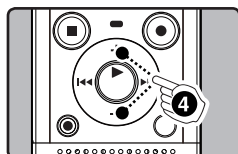
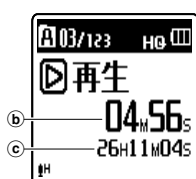
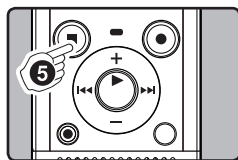
ご注意：

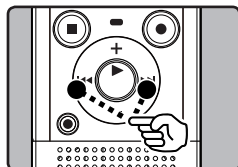
- 本機のマイクジャックに外部マイクをつなぐと、内蔵マイクは動作しなくなります。
- 本機から電源の供給を受けるプラグインパワー対応のマイクもご使用になれます。
- [**録音モード**] をステレオ形式に設定した場合、外部モノラルマイクを接続して録音するとLチャンネルのみに音声が録音されます。
- [**録音モード**] をモノラル形式に設定した場合、外部ステレオマイクを接続して録音するとLチャンネルマイクのみの録音となります。

◆録音中に関するご注意

- 頭切れを防ぐために、録音表示ランプの点灯やディスプレイ表示を確認してから録音を行ってください。
- 録音可能な残り時間が60秒になると、録音表示ランプが点滅を開始し、30秒、10秒と残量が減るにつれて点滅が早くなります。
- [**ファイル件数がいっぱいです**] と表示された場合、これ以上録音できません。フォルダを変更するか、不要なファイルを消去してから録音をしてください。
- [**メモリがいっぱいです**] と表示された場合、メモリがいっぱいです。不要なファイルを消去してから録音をしてください。
- 外部機器を接続する場合、試し録音をして外部機器の出力レベルを調整してください。
- 本機で再生関連の各種音質設定を調整すると、**イヤホン**ジャックから出力される音声出力信号も変化します。
- 外部マイクを接続して録音する場合、接続コードをディスプレイに近づけると、ノイズが発生することがあります。

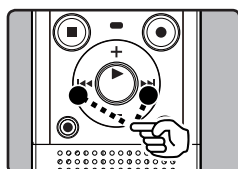
再生について

◆ 再生する

❶ **フォルダ/インデックス/シーン**ボタンを押して、再生するファイルが収録されているフォルダを選ぶ
ⓐ フォルダ表示

❷ ▶▶|または|◀◀ボタンを押して、再生したいファイルを選ぶ。

❸ ▶OK/**メニュー**ボタンを押して、再生を開始する
ⓑ再生経過時間/
ⓒファイルの長さ

❹ **+**または**−**ボタンを押して、聞きやすい音量にする
- ［**00**］～［**30**］の範囲で調整できます。

❺ **停止■**ボタンを押して再生を停止する
- 再生しているファイルの途中で停止します。レジューム機能が働き電源を切っても停止位置を記憶します。次に電源を入れたときに記憶した停止位置から再生できます。

◆ 早送り・早戻しをするには

停止中に、▶▶|または|◀◀ボタンを押し続ける。
- ボタンから手を離すと停止します。▶OK/**メニュー**ボタンを押すと、その位置から再生します。

再生中に▶▶|または|◀◀ボタンを押し続ける。
- ボタンから手を離すと、その位置から再生します。
- ファイルの途中にインデックスマークやテンプマークがついているときは、その位置でいったん停止します。
- ▶▶|: ファイルの終わりまで進むといったん停止します。さらに▶▶|ボタンを押し続けると、次のファイルの先頭から早送りを続けます。

  |◀◀: ファイルの先頭まで戻るといったん停止します。さらに|◀◀ボタンを押し続けると、前のファイルの終わりから早戻しを続けます。

◆ ファイルの頭出しをするには

停止中または再生中に▶▶|ボタンを押す。
- 次のファイルの頭出しをします。

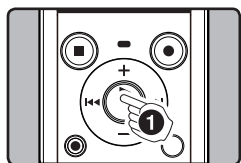
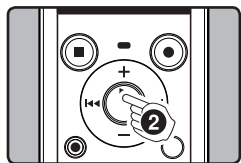
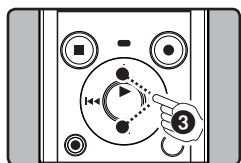
再生中に|◀◀ボタンを押す。
- 再生中のファイルの頭出しをします。

停止中に|◀◀ボタンを押す。
- 1つ前のファイルの頭出しをします。ファイルの途中で停止している場合、そのファイルの頭出しをします。

再生中に|◀◀ボタンを2回押す。
- 1つ前のファイルの頭出しをします。

ご注意：
- 再生中に頭出しをした場合、ファイルの途中にインデックスマークやテンプマークがついているときは、 その位置から再生します。ただし、停止中に頭出しをした場合、インデックスマークやテンプマークの位置は飛び越されます。
- 再生中に頭出しをしたときに、［**スキップ間隔**］が［**ファイルスキップ**］以外に設定されている場合、設定時間分だけスキップまたは逆スキップして再生を開始します。

◆再生スピードを変えるには

再生スピードを0.5倍速から2.0倍速の間で変更できます。会議の内容を早聞きしたり、語学学習で聞き取れなかった箇所を遅聞きするなど、必要に応じて切り替えてください。

❶ ▶OK/**メニュー**ボタンを押して、再生を開始する

❷ 再生中に▶OK/**メニュー**ボタンを押して、再生スピード設定画面にする

❸ **+**または**−**ボタンを押して、再生スピードを設定する

- ［**1.0 倍速**］（通常再生）
  普通の再生スピードです。
  ［**0.5 倍速**］から［**0.9 倍速**］（遅聞き再生）
  再生スピードが遅くなります。
  ［**1.1 倍速**］から［**2.0 倍速**］（早聞き再生）
  再生スピードが早くなります。

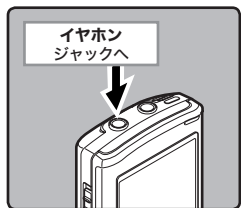
❹ ▶OK/**メニュー**ボタンを押して、設定を完了します

- ボタンを押さずに3秒放置しても、選択している項目が設定され、元の画面に戻ります。

再生を停止しても、変更した再生スピードはそのまま保持されます。次回の再生では変更した速さで再生を行います。

ご注意：

- 早聞き・遅聞き再生時でも、通常の再生と同じように、再生の停止、ファイルの頭出し、インデックス・テンプマークの挿入などの操作ができます。

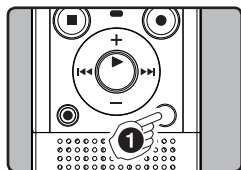
◆イヤホンで聞くには

本機の**イヤホン**ジャックにイヤホンを接続して聞けます。

- イヤホンを接続すると、スピーカから音は出ません。

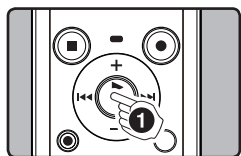
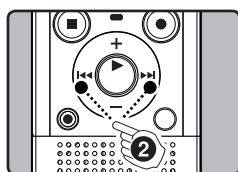
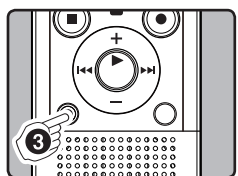
ご注意：

- 耳への刺激を避けるため、音量を［**00**］にしてからイヤホンを入れてください。
- 再生中イヤホンで聞く場合、音量をあまり上げないでください。聴覚障害、聴力低下を引き起こす恐れがあります。

◆インデックスマーク・テンプマークをつける

インデックスマークやテンプマークをつけると、早送り・早戻しやファイルの頭出し操作で、聞きたい位置をすばやく探せます。本機以外の機器で作成されたファイルにはインデックスマークがつけられませんが、代わりにテンプマークをつけることで聞きたい位置の一時記憶ができます。テンプマークは一時的なマーキングなので、他のファイルへの移動、パソコンとの接続などを行うと自動的に消去されます。

❶ 録音中または再生中に**フォルダ/インデックス/シーン**ボタンを押す

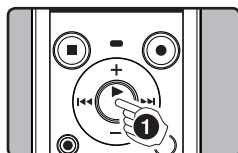
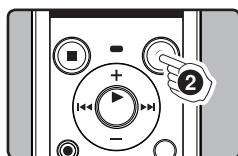
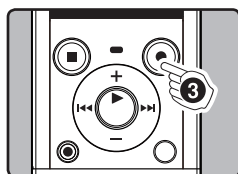
- インデックス・テンプマークをつけたあとも録音または再生は続きますので、同様の操作で他の場所にインデックス・テンプマークをつけることができます。

インデックスマーク・テンプマークを消去する：

❶ 消去したいインデックスマークまたはテンプマークのあるファイルを再生する

❷ ▶▶|または|◀◀ボタンを押して、消去したいインデックスマークまたはテンプマークを選ぶ

❸ ディスプレイにインデックス番号またはテンプ番号が表示されている間（約2秒間）に**消去**ボタンを押す
- インデックスマークまたはテンプマークが消去されます。

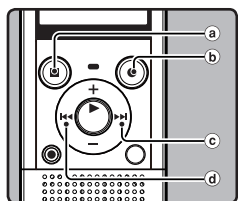
- 消去したインデックス・テンプマーク以降のインデックス・テンプ番号は自動的に繰り上がります。

ご注意：
- インデックスやテンプマークは1つのファイル内に最大で16件までつけることができます。16件を超えてインデックスやテンプマークをつけようとすると［**これ以上記録できません**］と表示されます。
- ファイルロックをかけてあるファイルは、インデックスやテンプマークをつけたり消去することができません。

◆部分リピート再生のしかた

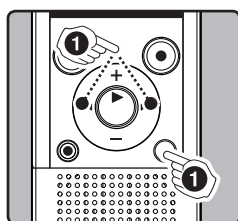
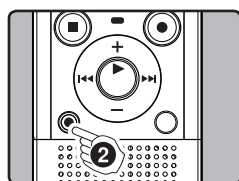
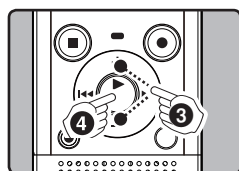
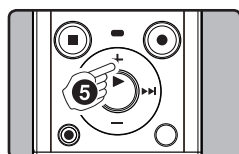
再生中のファイルの一部を繰り返し再生します。

❶ ▶OK/**メニュー**ボタンを押して、再生を開始する

❷ 部分リピート再生の開始位置で、**録音●**ボタンを押す
- この［A］の点滅中も通常の再生中と同じように再生スピードの切り替えや、早送り・早戻しが行え、終了位置まで早く進められます。
- ［A］の点滅中にファイルの終わりまで到達した場合、そこが終了位置になり、リピート再生を開始します。

❸ 部分リピート再生を終了させたい位置で、もう一度**録音●**ボタンを押す
- 部分リピート再生を解除するまで、繰り返し再生します。

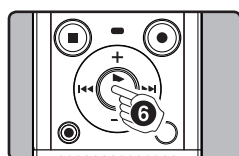
ご注意：
- 部分リピート再生中も通常再生と同じように、再生スピードを変えることができます。また部分リピート再生中にインデックスマークやテンプマークの挿入・消去をした場合、部分リピート再生が解除され通常の再生に戻ります。

部分リピート再生を解除する：

下記のいずれかのボタンを押すと、部分リピート再生は解除されます。

ⓐ **停止■**ボタンを押す。
ⓑ **録音●**ボタンを押す。
ⓒ ▶▶|ボタンを押す。
ⓓ |◀◀ボタンを押す。

◆消去する

フォルダ内の消去したいファイルを消去できます。また、選んだフォルダ内のファイルすべてを消去できます。

❶ 消去したいファイルまたはフォルダを選ぶ

❷ 停止中に**消去**ボタンを押す

❸ **+**または**−**ボタンを押して、［**フォルダ内消去**］または［**1件消去**］を選ぶ

❹ ▶OK/**メニュー**ボタンを押す

❺ **+**ボタンを押して、［**開始**］を選ぶ

❻ ▶OK/**メニュー**ボタンを押す

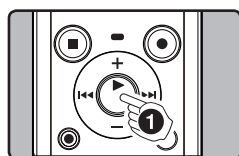
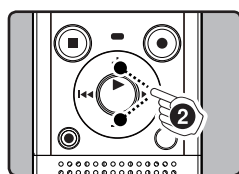
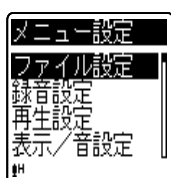
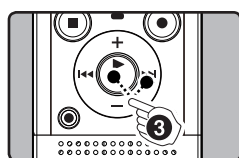
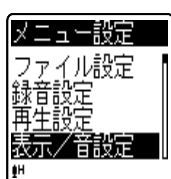
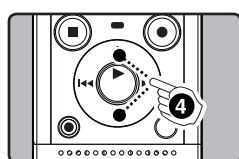
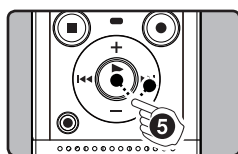
- ディスプレイが［**消去中!**］に変わり、消去を開始します。［**消去完了**］と表示されたら終了です。

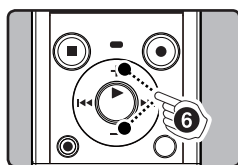
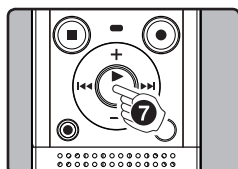
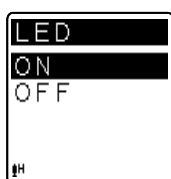
ご注意：

- ファイルロックをかけてあるファイルや読み取り専用に設定されているファイルは消去されません。
- 選択画面で8秒間操作を行わないと停止状態に戻ります。
- 処理が完了するまで数十秒かかる場合があります。その間は絶対に電池を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。
また、処理中に電池が切れることのないように、あらかじめ新しい電池に交換してください。
- 本機ではフォルダは消去できません。

メニューについて

◆ メニュー設定のしかた

メニュー内の各項目は分類されているので、すばやく目的の項目が設定できます。メニューの各項目は次の方法で設定が可能です。

❶ 録音中、再生中または停止中に▶OK/**メニュー**ボタンを1秒以上押す

❷ **+**または**−**ボタンを押して、設定したい項目を選ぶ

❸ ▶OK/**メニュー**または▶▶|ボタンを押して、カーソルを設定項目へ移動させる。

❹ **+**または**−**ボタンを押して、設定項目を選ぶ

❺ ▶OK/メニューまたは▶▶|ボタンを押す

- 選んだ項目の設定に移動します。

❻ +または−ボタンを押して、設定を変更する

❼ ▶OK/メニューボタンを押して、設定を完了する

- 設定が確定されたことを画面でお知らせします。
- **▶OK/メニュー**ボタンを押さずに|◀◀ボタンを押すと、設定がキャンセルされ、1つ前の画面に戻ります。

❽ 停止■ボタンを押して、メニュー画面を終了する

- 録音中または再生中にメニュー画面に入った場合、|◀◀ボタンを押すと、録音または再生を中断させることなく元の画面に戻れます。

ご注意:

- 設定中に3分間何も操作しないと、停止状態に戻ります。この場合、選択途中の項目は設定されません。
- 録音または再生途中からの設定では、8秒間何も操作しないとメニュー機能はキャンセルされます。

◆ ファイルに関するメニュー設定 [File Menu]

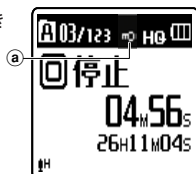
誤消去を防止する [Erase Lock]

ファイルロックをかけることにより、重要なファイルの誤消去を防止できます。また、フォルダ内のファイル全消去を行っても消去されません。

❶ [ファイル設定] メニューから [ファイルロック] を選ぶ

モードの選択

[ON]:ファイルロックがかかります。
[OFF]:ファイルロックが解除されます。

ⓐ ファイルロック表示

ファイルを分割する [File Divide]

容量の大きいファイルや、録音時間の長いファイルを分割して管理・編集しやすくすることができます。

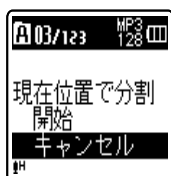
❶ ファイル分割したいファイルを選ぶ

❷ ファイルを再生または早送りし、分割する位置で再生を停止する

❸ [ファイル設定] メニューから [ファイル分割] を選ぶ

❹ +ボタンを押して [開始] を選び、▶OK/メニューボタン を押す

- ディスプレイが [**分割中!**] にかわり、ファイル分割を開始します。[**分割しました**] と表示されたら終了です。

03/123 MP3 128
現在位置で分割
開始
キャンセル

ご注意:

- ファイル分割できるファイルは、本機で録音したMP3形式のみです。
- フォルダ内のファイル件数が198 件以上の場合は分割できません。
- ファイルロックがかかっているファイルは分割できません。
- 分割後のファイルは、前半部分のファイルは [**ファイル名_1.mp3**] 、後半部分のファイルは [**ファイル名_2.mp3**] となります。
- MP3ファイルでも録音時間の極端に短いファイルは分割できない場合があります。
- ファイルの分割中に電池を抜かないでください。データが破損する可能性があります。

ファイルの情報を見る［Property］

情報を見る前に、ファイルを選んでからメニュー操作を行います。

❶ ［ファイル設定］メニューから［プロパティ］を選ぶ

［**名前**］［**日時**］［**サイズ**］［**ビットレート**］が表示されます。

◆録音に関するメニュー設定［Rec Menu］

マイク感度の設定［Mic Sense］

使用目的に合わせて内蔵マイクや外部マイクの感度を切り替えできます。

❶ ［録音設定］メニューから［マイク感度］を選ぶ

モードの選択

［高］：録音感度が高く、大人数の会議など、遠くの音や小さな音の録音に適しています。
［低］：録音感度が低く、口述録音に適しています。

ⓐ マイク感度表示

ご注意：
- 話し手の声をはっきりと録音したい場合、［**低**］にして本機の内蔵マイクを話し手の口に近づけて（5〜10cm）録音してください。
- ［**録音シーン**］を［**OFF**］以外に設定していると、［**マイク感度**］は機能しません。この機能を使うときは、［**録音シーン**］を［**OFF**］にしてください。

録音モードの設定［Rec Mode］

ステレオまたはモノラルの録音方式の選択の他、音質を重視して録音したり録音時間を重視して録音できます。目的に合わせて録音モードをお選びください。

❶ ［録音設定］メニューから［録音モード］を選ぶ

モードの選択

［MP3］（ステレオ／モノラル）を選んだ場合の設定：
［192kbps］（ステレオ）、［128kbps］（ステレオ）、［48kbps］（モノラル）
［WMA］（モノラル）を選んだ場合の設定：
［HQ］（高音質録音）、［SP］（標準録音）、［LP］（長時間録音）

ⓐ 録音モード表示

ご注意：
- 本機の内蔵マイクでステレオ録音（［**192kbps**］または［**128kbps**］モード）すると、内蔵マイクでのモノラル録音となり、左チャンネル（Lch）と右チャンネル（Rch）の両方に同じ音声を録音します。
- 会議や講演会などをはっきりと録音したい場合、録音レートを［**LP**］以外に設定して録音してください。
- ［**録音モード**］をステレオ録音方式に設定して録音すると、モノラルマイクを接続した場合、Lチャンネルのみに音声が録音されます。
- ［**録音シーン**］を［**OFF**］以外に設定していると、［**録音モード**］は機能しません。この機能を使うときは、［**録音シーン**］を［**OFF**］にしてください。

ローカットフィルタの設定［Low Cut Filter］

録音時に低周波音をカットし、音声をよりクリアに録音するローカットフィルタ機能を搭載しています。エアコンの空調音やプロジェクターなどのノイズを低減できます。

❶ ［録音設定］メニューから［ローカットフィルタ］を選ぶ

モードの選択

［ON］：ローカットフィルタが機能します。
［OFF］：機能しません。

ⓐ ローカットフィルタ表示

ご注意：
- ［**録音シーン**］を［**OFF**］以外に設定していると、［**ローカットフィルタ**］は機能しません。この機能を使うときは、［**録音シーン**］を［**OFF**］にしてください。

音声起動録音の設定［VCVA］

音声起動録音（VCVA）とは、設定した音声起動レベルよりも大きな音声を感知すると自動的に録音が始まり、音声が小さくなると自動的に録音を一時停止する機能です。会議中の長い沈黙などを自動的にカットして録音することによりメモリを節約できます。

❶ ［録音設定］メニューから［VCVA］を選ぶ

モードの選択

［ON］：VCVAが機能します。VCVAの音声起動レベルは調整できます。
［OFF］：機能しません。通常の録音に戻ります。

ⓐ VCVA表示

音声起動レベルの調整

まわりの雑音が大きいなど、録音状況に応じてVCVA の音声起動レベルを調整できます。

❶ 録音●ボタンを押して、録音を開始する

- 設定した起動感度より音が小さくなると約1秒後に自動的に録音がいったん停止します。このときディスプレイに［**待機中**］が点滅します。録音起動中は録音表示ランプが点灯し、いったん停止すると点滅します。

❷ ▶▶Iまたは I◀◀ボタンを押して音声起動レベルを調整する

- ディスプレイにVCVAの音声起動レベルを15段階（［01］～［15］）で表示します。
- 数字が大きくなるほどVCVAの起動感度は高くなり、小さな音でも録音が始まるようになります。

ご注意：

- 音声起動レベルは設定されているマイク感度により異なります。
- 音声起動レベルの調節は2 秒以内に行わないと表示が元に戻ります。
- 失敗のない録音を行うために、事前に試し録音で音声起動レベルを調節することをおすすめします。
- ［**録音シーン**］を［**OFF**］以外に設定していると、［**VCVA**］は機能しません。この機能を使うときは、［**録音シーン**］を［**OFF**］にしてください。

使用状況に最適な録音の設定［Rec Scene］

録音する場面や状況にあわせた録音設定を、［**メモ**］［**商談**］［**会議**］のテンプレートから選べるほか、お好みの録音設定を保存しておくことができます。

❶ ［録音設定］メニューから［録音シーン］を選ぶ

❷ ＋またはーボタンを押して設定項目を選び、▶OK/メニューまたは▶▶Iボタンを押す

モードの選択

［録音シーン選択］を選んだ場合の設定：

＋またはーボタンを押して、設定したい［**録音シーン**］を選び、▶**OK/メニュー**ボタンを押す

［OFF］：機能しません
［メモ］： 口述録音に適しています
［商談］： 小さいスペースでの打ち合わせなどの録音に適しています
［会議］： 少人数の会議などの録音に適しています
［ユーザー設定］：
［録音シーン保存］で保存した設定で録音します

ⓐ 録音シーン表示

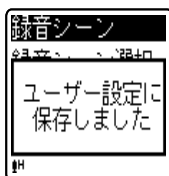
［録音シーン保存］を選んだ場合の設定：

▶**OK/メニュー**ボタンを押す

- 現在設定されている［**録音設定**］メニューの各設定を［**ユーザー設定**］に保存します。

- ［**録音シーン選択**］を切り替えるには、停止時に**フォルダ/インデックス/シーン**ボタンを1秒以上押すと、［**録音シーン選択**］の選択画面になります。

ご注意：

- ［**録音シーン**］を［**OFF**］以外に設定していると、その他の録音に関するメニュー設定は機能しません。これらの機能を使うときは、［**録音シーン**］を［**OFF**］にしてください。

◆再生に関するメニュー設定［Play Menu］

音声フィルタの設定［Voice Filter］

再生または早聞き・遅聞き再生時に、低音域と高音域成分をカットし、音声をよりクリアに強調する音声フィルタ機能を搭載しています。

❶ ［再生設定］メニューから［音声フィルタ］を選ぶ

モードの選択

［ON］：音声フィルタが機能します。
［OFF］：機能しません。

ⓐ 音声フィルタ表示

再生モードを選ぶ［Play Mode］

お好みに合わせて再生モードをお選びいただけます。

❶ ［再生設定］メニューから［再生モード］を選ぶ。

モードの選択

［再生範囲］を選んだ場合の設定：

［ファイル］： 現在のファイルを再生後に停止します。
［フォルダ］： 現在のフォルダ内の最終ファイルまで連続再生して停止します。

［リピート］を選んだ場合の設定：

［ON］： リピート再生の設定をする場合に選びます。
［OFF］：機能しません。

ⓐ 再生モード表示

ご注意：

- ［**ファイル**］を設定した状態で、フォルダ内の最終ファイルの終わりまで進むと、ディスプレイに［**ファイルエンド**］が2秒間点滅し、最終ファイルの開始位置で停止します。
- ［**フォルダ**］を設定した状態で、フォルダ内の最終ファイルの終わりまで進むと、ディスプレイに［**ファイルエンド**］が2秒間点滅し、フォルダ内にある先頭ファイルの開始位置で停止します。

スキップ間隔の設定［Skip Space］

スキップの間隔は［**スキップ**］および［逆**スキップ**］それぞれに設定できます。再生中のファイルを設定した間隔だけスキップ（送る）または逆スキップ（戻る）して再生することができる機能で、再生位置をすばやく移動したり、短いフレーズを繰り返し再生するときなどに便利です。

❶ ［再生設定］メニューから［スキップ間隔］を選ぶ

モードの選択

［**スキップ**］を選んだ場合：
　［**ファイルスキップ**］［**10秒**］［**30秒**］［**1分**］［**5分**］［**10分**］

［**逆スキップ**］を選んだ場合：
　［**ファイルスキップ**］［**1秒**］～［**5秒**］［**10秒**］［**30秒**］［**1分**］［**5分**］［**10分**］

スキップ・逆スキップ再生のしかた

❶ ▶OK/**メニュー**ボタンを押して、再生を開始する

❷ 再生中に▶▶❘または❘◀◀ボタンを押す

- 設定した間隔でスキップまたは逆スキップして再生を開始します。

ご注意：

- スキップ間隔より近い位置にインデックスマーク・テンプマーク、頭出し位置がある場合、その位置にスキップ・逆スキップします。

◆ディスプレイや音に関するメニュー設定［LCD/Sound Menu］

表示する文字サイズの設定［Font Size］

ディスプレイに表示される文字のサイズを設定します。

❶ ［表示／音設定］メニューから［文字サイズ］を選ぶ

モードの選択

［大］：文字を大きく表示します。
［小］：文字を小さく表示します。

ご注意：

- ［**小**］に設定すると画面のレイアウトが変わり、表示する情報量が増えます（☞ P.3「**ディスプレイ（液晶パネル）**」をご覧ください）。

ディスプレイのコントラストの設定［Contrast］

ディスプレイのコントラストを12段階に調整できます。

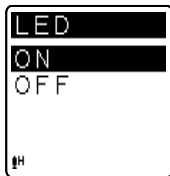
❶ ［表示／音設定］メニューから［コントラスト］を選ぶ

LED の設定［LED ］

LED表示ランプを点灯しないように設定できます。

❶ ［表示／音設定］メニューから［LED］を選ぶ

モードの選択

［ON］：LEDが点灯します。
［OFF］：LEDは点灯しません。

ビープ音の設定［Beep］

本機はボタン操作を知らせたり誤操作を警告したりするときにビープ音が鳴ります。ビープ音を出したくないときは鳴らないように設定することもできます。

❶ ［表示／音設定］メニューから［ビープ音］を選ぶ

モードの選択

［ON］：ビープ音が鳴ります。
［OFF］：ビープ音が鳴りません。

言語の設定［Language(Lang)］

本機は日本語表示と英語表示のどちらかを選べます。

❶ ［**表示／音設定**］メニューから［**言語選択 (Lang)**］を選ぶ

ご注意：
- 表示言語を切り替えても、すでに入力してあるファイル名の言語は変わりません。

◆本体に関するメニュー設定［Device Menu］

日付・時刻を変えるには［Time & Date］

現在日時が合っていない場合に設定します。

❶ ［**本体設定**］メニューから［**時計設定**］を選ぶ

(☞ P.4「**日付・時刻を合わせる［Time&Date］**」をご覧ください。)

設定をリセットする［Reset Settings］

各種機能を初期設定（工場出荷時）に戻します。

❶ ［**本体設定**］メニューから［**設定リセット**］を選ぶ

録音設定

メニュー項目	初期設定
［**マイク感度**］	［**高**］
［**録音モード**］	［**192 kbps**］
［**ローカットフィルタ**］	［**OFF**］
［VCVA］	［**OFF**］
［**録音シーン**］	［**OFF**］

再生設定

メニュー項目	初期設定
［**音声フィルタ**］	［**OFF**］
［**再生モード**］	［**ファイル**］
［**スキップ間隔**］	スキップ再生 ［**ファイルスキップ**］ 逆スキップ再生 ［**ファイルスキップ**］

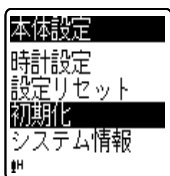
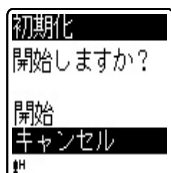
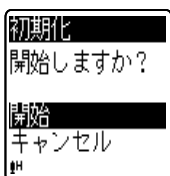
表示 / 音設定

メニュー項目	初期設定
［**文字サイズ**］	［**大**］
［**コントラスト**］	［**06**］
［**LED**］	［**ON**］
［**ビープ音**］	［**ON**］
［**言語選択**］	［**日本語**］

ご注意：
- 設定リセット後の時計設定やファイル番号については、初期設定には戻らず設定リセット前の設定を保持します。

初期化する［Format］

初期化すると記録されているファイルはすべて消去されます。大切なファイルはパソコンに転送してから初期化してください。

❶ ［**本体設定**］メニューから［**初期化**］を選ぶ

❷ **+**ボタンを押して、［**開始**］を選び、►OK/**メニュー**ボタンを押す
- ［**データが完全に消去されます**］が2秒間表示され、［**キャンセル**］が点灯します。

❸ **+**ボタンを押して、もう一度［**開始**］を選び、►OK/**メニュー**ボタンを押す
- ［**初期化中!**］が表示され、初期化が開始されます。
- ［**初期化完了**］が表示されたら初期化終了です。

ご注意：
- 処理が完了するまで数十秒かかる場合があります。その間は絶対に電池を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。
  また、処理中に電池が切れることのないように、あらかじめ新しい電池に交換してください。
- 本機をパソコンから初期化することは絶対にしないでください。
- 初期化をすると、ファイルロックをかけたファイルや読み取り専用ファイルを含む既存のデータはすべて消去されます。
- 初期化後、録音した音声ファイルは、ファイル名が［**0001**］からとなる場合があります。
- 各種機能の設定を初期設定に戻す場合、［**設定リセット**］を操作してください。

システム情報を見る［System Info.］

メニュー画面から本機の情報を確認できます。

❶ ［**本体設定**］メニューから［**システム情報**］を選ぶ

［**モデル名**］［**バージョン**］［**シリアル番号**］が表示されます。

本機をパソコンでお使いいただくためには

本機は音声レコーダーとしての使いかたの他、パソコンの外部メモリとして、パソコンからのデータ保存や読み出しにもご使用できます。
- 本機で録音した音声ファイルをパソコンにバックアップ、保存することができます。
- パソコンの画像やテキストデータなどを本機に保存することができます。
- 本機で録音した音声ファイルは、パソコン上ではWindows Media Player／Windows Media Player for Macを使って再生できます。

ご注意：
- データ通信中は［**データ送信中**］または［**データ受信中**］と表示され、録音表示ランプが点滅します。録音表示ランプが点滅中は、絶対にUSB接続を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。
- Mac OSの標準環境では、WMA形式のファイルは再生できません。

◆パソコンの動作環境

Windows：

OS（オペレーティングシステム）：
Microsoft Windows XP/Vista/7 標準インストール（日本語版）

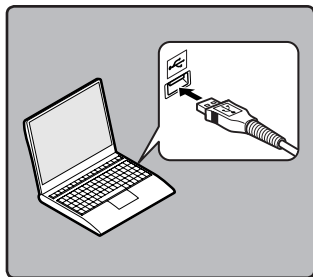
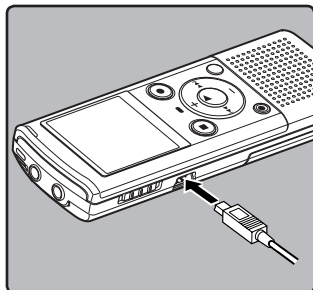
対応パソコン：
1つ以上空きのあるUSBポートを装備したWindows対応パソコン

Macintosh：

OS（オペレーティングシステム）：
Mac OS X 10.4.11～10.6 標準インストール（日本語版）

対応パソコン：
1つ以上空きのあるUSBポートを装備したApple Macintoshシリーズ

ご注意：
- 動作環境を満たしていても、OSをアップグレードしたもの、マルチブート環境、自作パソコン、NEC PC-98シリーズとその互換機については動作保証外とさせていただいています。

◆パソコンに接続する

❶ 本機の電源を入れる
❷ USB 接続ケーブルをパソコンのUSBポートに接続する

❸ 本機が停止していることを確認し、本機のUSB端子へUSB接続ケーブルを接続する

Windows：
［**マイコンピュータ**］を開くと、製品名のドライブ名で認識されます。

Macintosh：
デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されます。

- USB接続中は、ディスプレイに［**PCと接続中です**］と表示されます。

ご注意：
- USB接続ケーブルは必ず付属の専用ケーブルをご使用ください。他社製品をご使用になった場合、故障の原因となりますので、絶対におやめください。またこの専用ケーブルを他社製品に接続することも絶対におやめください。
- パソコンのUSBポートについては、ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- USBコネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていない場合、正常に動作しません。
- USBハブを経由して本機を接続すると、動作が不安定になることがあります。この場合、USBハブを使用しないでください。

パソコンから取り外す：

Windows：

❶ 画面右下のタスクバーの [ ] をクリックし、[**USB大容量記憶装置デバイスードライブを安全に取り外します**] をクリックする

- ご使用のパソコンにより、ドライブのアルファベット表記が異なります。

❷ ハードウェアの取り外しウィンドウが表示されたら [**OK**] をクリックする
❸ 本機をパソコンから取り外す

Macintosh：

❶ デスクトップに表示されている本機のリムーバブルアイコンを、ドラッグ&ドロップでゴミ箱に移動する

❷ 本機をパソコンから取り外す

ご注意：
- 録音表示ランプが点滅中は、絶対にUSB接続を取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。

安全に正しくお使いいただくために

お読みになった後は、いつでも見られるように必ずお手元に保管してください。
- **安全に関する重要事項は、以下の表示と文章で示されます。あなたと他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、必ず守ってください。**
- **表示の意味は、次のようになっています。**

表示	意味
⚠ 危険	この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。
⚠ 警告	この記号は、決してしてはいけない「禁止」内容を表しています。図または文章で具体的な禁止内容を示します。
⚠ 注意	この記号は、必ず実行していただく「強制」内容を表しています。

記号	意味
⃠	この記号は、決してしてはいけない「禁止」内容を表しています。図または文章で具体的な禁止内容を示します。
❗	この記号は、必ず実行していただく「強制」内容を表しています。

電池について

⚠ 危険

⃠ **火の中への投入、加熱、⊕ と ⊖ 極間のショート、分解をしないでください。**
火災・破裂・発火・発熱の原因となります。

⃠ **直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温になる場所で使用・放置しないでください。**
液漏れ、発熱、破裂などにより、火災・やけど・けがの原因となります。

⚠ 警告

⃠ **直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしないでください。**

⃠ **⊕ と ⊖ 端子を接続しないでください。**
発熱や感電・火災の原因になります。

❗ **電池を持ち運んだり、保管する際は必ずケースに入れて、端子部分を保護してください。キーホルダーなどの貴金属と一緒に、携帯･保管しないでください。**
発熱や感電・火災の原因になります。

⃠ **電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口などに直接接続しないでください。**

⃠ **電池の極性（⊕ と ⊖）を逆に入れないでください。**
電池は 、液漏れ 、発熱 、発火 、破裂する恐れがあります。
- 外装シール（絶縁被覆）の破れた電池を使わないでください。
- 長期間使用しないときは、必ず電池を取り出して保管してください。
- 使用済みの電池は接点部分にテープを貼って絶縁し、一般廃棄物として各自治体の指示にしたがって廃棄してください。
- 使えなくなった電池は速やかに本機から取り出してください。液漏れの恐れがあります。

❗ **電池の液が目に入った場合は失明の恐れがありますので、こすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流したあと、直ちに医師の診断を受けてください。**

⃠ **充電できないアルカリ電池、リチウム電池などを充電しないでください。**

⃠ **電池は幼児・子供の手の届くところに置かないでください。**
電池は幼児・子供が飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

万一、使用中に異常な音がする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、
① けがをしないように注意しながら速やかに電池を抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。放置すると火災や火傷の原因となります。

水や海水などにつけたり、端子部を濡らさないでください。

液漏れ、変色、変形、その他異常が発生した場合は、使用を中止してください。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こす恐れがありますので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

火気のある場所に電池を置かないでください。

⚠ 注意

電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。

充電池をはじめてご使用になる場合、また長時間使用していなかった場合は、ご使用の前に必ず充電してください。

充電池には寿命があります。指定する条件で充電しても使用時間が短くなったときは寿命と判断し、新しい充電池と取り替えてください。

本機について

⚠ 警告

分解、修理、改造をしないでください。
感電やケガの恐れがあります。

操作前から、音量を上げないでください。
聴覚障害、聴力低下を引き起こす恐れがあります。

車両（自転車、バイク、車など）の運転をしながら操作しないでください。
交通事故などの原因となります。

この製品を幼児、子供の手の届く範囲に放置しないでください。
幼児、子供の近くで使用するときは細心の注意を払い、不用意に製品から離れないでください。
幼児、子供には警告・注意の内容の理解ができませんし、加えて以下のような事故の恐れがあります。例えば
ー 誤ってイヤホンコードを首に巻き付け、窒息する。
ー 操作を誤りケガや感電事故などを起こす。

水に落としたり、内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったら、
① 速やかに電池を抜いてください。
② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の危険があります。

航空機内や病院など使用に制限のある場所でのご使用をお避けになるか、その場所の指示にしたがってください。

⚠ 注意

操作前から、音量を上げないでください。
聴覚障害、聴力低下を引き起こす恐れがあります。

故障かな？と思ったら

Q-1　**操作を受けつけない。**
A-1　**電源／ホールド**スイッチが［**ホールド**］側になっていませんか?
電池が消耗していませんか?
電池は正しく入っていますか?

Q-2　**再生してもスピーカーから音が聞こえない、音が小さい。**
A-2　イヤホンジャックにイヤホンが接続されていませんか?
ボリュームボタンの操作で適切な音量に調節してありますか?

Q-3　**録音できない。**
A-3　本機が停止中に**停止■**ボタンを押し続けると、
・録音可能時間がゼロになっていませんか?
録音●ボタンを押すと［**メモリがいっぱいです**］と表示されませんか?
録音●ボタンを押すと［**ファイル件数がいっぱいです**］と表示されませんか?

Q-4　**再生の速度が早い（または遅い）。**
A-4　早聞き再生（または遅聞き再生）になっていませんか?

◆ アフターサービスについて

お買い上げいただきました本機を安心してご愛用いただくために当社では、次のアフターサービス体制をとっております。 ユーザー登録を行っていただくと、各種サービス情報をお届けできます。
http://olympus-imaging.jp/からお願いします。

● **オリンパスホームページ：**
http://www.olympus.co.jpで
ICレコーダー（ボイストレック）および関連製品の技術情報を提供しております。

● **製品に関するお問い合わせは：**
オリンパスカスタマーサポートセンター

Tel：📞 0120－084215／携帯電話・PHS：042－642－7499
Fax：042－642－7486

※　カスタマーサポートセンター・修理センターおよびサービスステーションの営業日・営業時間、最新情報については オリンパスホームページ http://www.olympus.co.jp/ から「お客様サポート」のページをご参照ください。

● **修理に関するお問い合わせは：**
お買い上げ店か、お近くのオリンパスサービスステーションにお問い合わせください。当社では本機の補修用修理部品は、製造打ち切り後6年間をめやすに保有しております。したがいまして上記期間中は、原則として修理をお受けいたします。また期間後であっても修理可能の場合もあります。なお保証期間経過後の修理は有料となります。また、保証期間中でも運賃など諸費用は、お客様にご負担をお願いいたします。製品を送る場合は、必ず書留小包または宅配便をご利用ください。

主な仕様

一般事項

■ **記録媒体：**
内蔵型メモリ：2GB

■ **記録形式：**
WMA (Windows Media Audio) 形式
MP3 (MPEG-1 Audio Layer3) 形式

■ **規定入力レベル：**
−70 dBv

■ **ヘッドホン最大出力：**
3 mW+3 mW (22Ω負荷時)

■ **スピーカ：**
ϕ28 mm丸型ダイナミックスピーカ内蔵

■ **マイクジャック：**
ϕ3.5 mm インピーダンス2kΩ

■ **イヤホンジャック：**
ϕ3.5 mm インピーダンス8Ω以上

■ **スピーカ実用最大出力：**
250 mW (スピーカ8Ω)

■ **電源：**
単4形乾電池2本 (LR03) または
オリンパス製ニッケル水素充電池2本

■ **外形寸法：**
108 mm×39 mm×16.8 mm
（最大突起部含まず）

■ **質量：**
66 g (電池含む)

■ **使用温度：**
0〜42℃

■ **同梱品：**
本体／単4乾電池2本／イヤホン／USBケーブル／取扱説明書 (保証書付)

録音時間のめやす

■ **MP3 形式**

録音モード	内蔵メモリ (2 GB)
192 kbps	約22時間30分
128 kbps	約34時間
48 kbps	約91時間30分

■ **WMA 形式**

録音モード	内蔵メモリ (2 GB)
HQ	約134時間
SP	約264時間
LP	約843時間

ご注意：
- 上記の値はあくまでめやすです。
- 小刻みに録音を繰り返したときは、録音可能時間がこれより短くなる場合があります (録音可能時間および録音時間表示はめやすとしてお使いください) 。
- ビットレートが低い場合、録音可能時間の差が大きくなるため、注意が必要です。

総合周波数特性

■ **録音／再生時：**

MP3 形式

録音モード	周波数特性
192 kbps	70 Hz〜19 kHz
128 kbps	70 Hz〜17 kHz
48 kbps	70 Hz〜10 kHz

WMA 形式

録音モード	周波数特性
HQ	70 Hz〜13 kHz
SP	70 Hz〜8 kHz
LP	70 Hz〜3 kHz

■ **内蔵マイク録音時：**
40 Hz 〜 14 kHz
- 但し、周波数特性の上限値は各録音モード（上表）による。

音楽ファイルについて

本機に転送した音楽ファイルが再生できない場合、サンプリングレートやビットレートが再生できる範囲かご確認ください。本機で再生できる音楽ファイルのサンプリングレートやビットレートの組み合わせは下記のとおりになります。

ファイル形式	サンプリングレート	ビットレート
MP3形式	**MPEG1 Layer3**：32 kHz、44.1 kHz、48 kHz **MPEG2 Layer3**：16 kHz、22.05 kHz、24 kHz	8 kbps から 320 kbps まで
WMA形式	8 kHz、11 kHz、16 kHz、22 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz	5 kbps から 320 kbps まで

- 可変ビットレート (1つのファイル内でビットレートを可変させて変換) のMP3ファイルの再生については、正常に動作しない場合があります。
- 本機はMicrosoft CorporationのDRMには未対応です。
- 本機で再生可能なファイル形式であっても、ファイルによっては再生できない場合があります。

1 ファイルあたりの最長録音時間

■ **MP3 形式**

録音モード	録音時間
192 kbps	約49時間40分
128 kbps	約74時間30分
48 kbps	約198時間40分

■ **WMA 形式**

録音モード	録音時間
HQ	約26時間40分
SP	約53時間40分
LP	約148時間40分

- メモリ残量にかかわらず、1 ファイルあたりの最長録音時間は上記の値に制限されています。

電池持続時間のめやす

■ **アルカリ乾電池：**

録音モード	内蔵マイク録音時	内蔵スピーカ再生時	イヤホン再生時
MP3 192kbps	約32時間	約17時間	約37時間
WMA LP	約51時間	約20時間	約44時間

■ **ニッケル水素充電池：**

録音モード	内蔵マイク録音時	内蔵スピーカ再生時	イヤホン再生時
MP3 192kbps	約25時間	約14時間	約30時間
WMA LP	約40時間	約16時間	約34時間

ご注意：
- 上記の値はあくまでめやすです。
- 電池持続時間は当社試験法によるものです。使用条件により大きく変ります。